

北九州市

ボランティアでサイトを運営 地域を愛する人たちの熱意がここにある

「北九州情報ネットワーク」は平成10年から北九州市の第3セクターが運営していた地域ポータル・サイトである。平成16年4月からは解散した第3セクターの元社員らで構成するボランティア団体が運営を引き継いでいる。

文
谷口陽一
ひろば倶楽部 代表(北九州情報ネットワーク運営)

利用者の声に応え ボランティア団体が運営

「北九州情報ネットワーク」は平成16年3月まで、北九州市の第3セクターで筆者も勤務していた(株)北九州情報ひろばが運営していました。北九州情報ネットワークの歴史をさらにさかのぼると、平成10年4月4日に、旧郵政省と旧通商産業省が連携して推進する地域情報化施策「先進的情報通信システムモデル都市構築事業」にたどり着きます。具体的には、ビデオテックス(NTTのキャプテンシステム)に代わって、インターネットを使った新しい情報提供メディアとして誕生した、全国的にも歴史のある地域情報サイトです。

しかし、その運営会社は解散することになります。その解散日が刻々と迫ってくる中で、サイトの継続が正式に決定したのは、実は解散日の直前でした。運営会社の解散と同時にサイトも閉鎖であ

ろうという雰囲気が大半を占めるなか、サイト内の掲示板で「みんなでこのサイトを残そう」という利用者の声が沸き上がったのです。そこで、すぐにサイト継続のための検討を開始しました。検討案の中には、民間企業や財団法人に引き取ってもらう案、NPOを設立して運営を引き継ぐ案など、運営主体を中心にさまざまな形態を模索しましたが、検討する期間も限られていたため、結局、現在の形態である当時の社員を中心としたボランティア団体「ひろば倶楽部」を組織し、これが運営主体となりました。

ボランティア運営を 支えるシステム

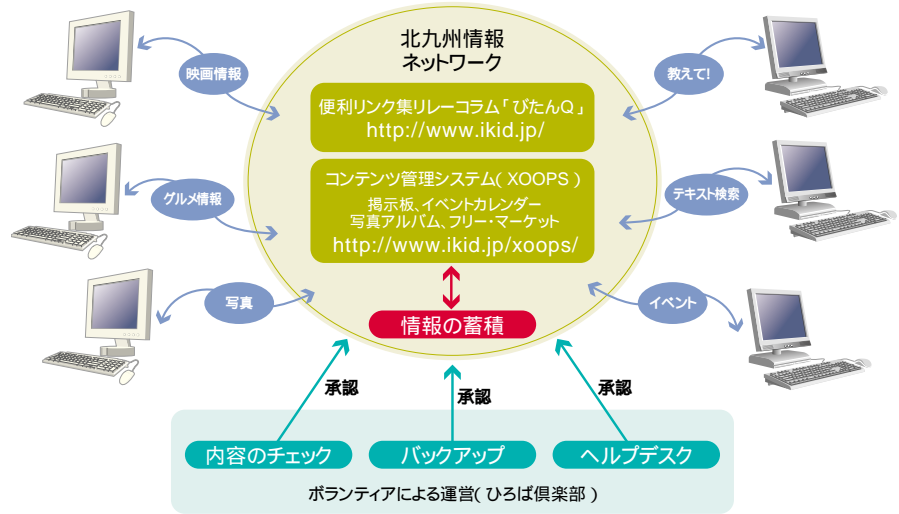
従来から続くサイトの基本構成は、便利に使えるリンクを主体としたページ、そして自由に投稿できる掲示板やイベント・カレンダーなどのコミュニティ機能を主体としたページの2面構成です。し

かし、もともと街頭に置かれた情報端末との兼用サイトとして発展してきたため、リンク用のボタンが多数配置されているほか、グルメや映画情報の掲示板も過去の書き込みが自動的に消去されてしまうなどの欠点が目立っていました。そこで、旧運営会社時代の平成15年夏、現在のサイト、ページ・デザインにリニューアルを図りました。

また、業務に十分な時間を割けられないボランティアでも運営を可能にしているのが、前述のリニューアル時に採用したXOOPS(ズープス、PHP言語を用いたコミュニティ・サイト構築フリーソフト <http://jpxoops.org/>)です。コミュニティ・サイト構築に関し、自由に選択して組み込めるモジュール(掲示板やイベントカレンダーなど)が豊富に提供されており、ブラウザだけで管理者業務を容易に行えることを特徴としています。投稿された内容はすべて蓄積され、利用者はテキスト検索を用いて



北九州情報ネットワーク
(<http://www.ikid.jp/>)



過去の投稿記事をいつでも検索できます。使い込めば使い込むほど内容が充実していく地域情報蓄積型の地域ポータル・サイトに最適なツールと言えます。

公共性を持ったポリシーは継続

運営主体である「ひろば倶楽部」のメンバーは現在9名。広島地域ポータル・サイトにボランティアで参加した経験を持ち、タイミングよく北九州市に帰ってきた人やインターネットに長けた技術者も参加しており、現時点では戦力的にも全く問題はない状態です。また、利用者が自由に投稿・登録できるサイトなので、投稿内容のチェック、および承認処理は毎日欠かせません。運営主体が代わっても、中立性および公共性を重視する方針に変わりはありません。1つの誹謗・中傷で、あっという間にサイトが荒れてしまうので、特に注意しています。

この外、インフォメーション欄やピッ

クアップサイトの内容更新、万が一のことに備えてのバックアップなど、それなりに運用業務は多いのですが、メンバーで分担することで解決しています。メンバー同士のコミュニケーション手段は、メーリング・リストと不定期で開催するオフ(飲み)会です。なお、Webサーバーは旧運営主体の情報機器を引き取ってもらった民間企業の厚意により無償提供を受けており、直接的な経費はほとんど発生していません。このように、北九州情報ネットワークはボランティア体制で支え、運営しているのです。

より地域色を出せるサイトへ

ボランティア団体であるため、運営スタッフのほとんどは勤務先の仕事が主となりますので、サイトに掲載するための情報収集やその発信にあまり時間は割けません。そこで、運営スタッフはあくまで脇役に徹し、アクセスしてくれる利

用者が主役となって、利用者自身でサイトを盛り上げてもらいたいと思っています。幸いにも、北九州情報ネットワークは良質な利用者に恵まれており、月平均約30万ページ・ビューと多くの利用者に訪れてもらっています。

地域ポータルの最大の魅力は、サイトでの情報交換を通して、利用者が北九州市地域のいろいろな側面を見つめ直すことができるということです。そう考えていくと、この地域ポータル・サイトを中心に、“北九州大好き人間”がどんどん増えてほしいとの期待が膨らみます。一方、北九州市以外の人々に対しては、地域の文化や心意気をストレートに伝えることのできる有力なメディアであると意識しており、責任も感じています。

ひろば倶楽部としては、これまで築き上げてきた地域ポータルを大切に守り続け、常に利用者の声に耳を傾けながら、より活発な地域ポータル・サイトを育てていきたいと考えています。 [e-Gov](http://www.e-Gov.jp)